

国際地図学会議への寄付のお願い

今年7月に東京で開催される第29回国際地図学会議（ICC2019）が近づいてきました。これは、国際地図学協会が2年（総会は4年）ごとに開催する国際会議であり、1962年の第1回から今回で29回目を迎える、地図学分野では最も歴史と権威のある国際会議です。この会議の日本での開催は、1980年の第6回の東京大会以来、39年ぶり2回目となります。

この国際地図学会議の組織委員会から、地理学連携機構に対し、加盟学協会やその会員に対し、寄付を呼びかけていただきたい旨、依頼がありました。この件については、3月19日（火）に開催された地理学連携機構、地理関連学会連合、人文・経済地理関連学会協議会の合同総会で、組織委員会の森田喬委員長からお願いがありましたが、このたび再度のお願いがありました。当初は学協会に対して寄附は求めないとのことでしたが、諸般の事情で支出が増える見込みのため、団体としての寄附もお願いしたいとのことです。

日本国内で開催される重要な国際会議の成功のために、加盟学協会およびその会員の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。なお、寄付の詳細については、以下をご参照願います。

http://www.icc2019.org/data/icc2019_donation04.pdf

2019年4月27日

地理学連携機構代表

石川 義孝